

2019年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社ダイキアクシス
 代表者名 代表取締役社長 CEO・CGO 大 亀 裕
 (コード番号：4245 東証第一部)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 CFO・CIO 堀 淵 昭洋
 (TEL：089-927-2222)

2019年12月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました第2四半期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期連結業績予想値と実績値の差異(2019年1月1日～2019年6月30日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2019年2月14日)	18,200	670	720	440	36.70円
今回実績値 (B)	17,848	504	575	214	17.89円
増減額 (B-A)	△351	△165	△144	△225	
増減率 (%)	△1.9	△24.8	△20.1	△51.2	
(ご参考) 2018年12月期 第2四半期実績	17,429	493	596	317	26.50円

2. 修正の理由

2019年12月期第2四半期において、最終的に赤字となった大型案件(電子部品工場関連)の完成がございました。当該案件については、期中に受注金額が増額となったものの、案件全体の利益が23百万円の赤字となったことから、前連結会計年度に工事進行基準で計上した利益88百万円を戻し入れる結果となりました。

また、前述とは別に、国内の大型案件(ゴミ処理場排水関連)において、外注工事費の増加が見込まれるなど、他の案件を含め計2件において工事損失引当金として99百万円を見込計上することとなりました。

一方、販売費及び一般管理費等については人件費中心に圧縮し、営業利益は前年同四半期並みとなりましたが、営業外収益で前年同四半期に計上した補助金収入同等額が当第2四半期連結累計期間は収益発生しなかったことや、連結における税金費用の比率が高まったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回の発表予想を下回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、国内外における受注状況等を勘案し、前回公表数値から変更しておりません。

なお、第2四半期末および期末の配当金額につきましても、前回公表数値から変更しておりません。

以 上

ご注意： 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。